

過疎地・水資源等対策特別委員会記録

開催日時 平成22年12月8日(水) 10:33~10:50

開催場所 第1委員会室

出席委員 6名

国中 憲治 委員長

田中 惟允 副委員長

小林 茂樹 委員

高柳 忠夫 委員

今井 光子 委員

川口 正志 委員

欠席委員 2名

新谷 紘一 委員

秋本登志嗣 委員

出席理事者

影山 地域振興部長

廣野 文化観光局長

武末 医療政策部長

富岡 農林部長

川崎 土木部長

浅井 水道局長 ほか、関係職員

傍聴者 なし

議 事

(1) 11月定例県議会追加提出予定議案について

<質疑応答>

○国中委員長 ただいま各部局から追加提出予定議案についてご説明がありました。

ただいまの議案について質疑があれば、ご発言を願いたいと思います。

なお、質疑はただいまの説明のありました案件に限らせていただきますので、よろしく
お願いいたします。

○今井委員 「過疎地・水資源等対策特別委員会資料」の3ページのところでわからない
ところがありますので、教えていただきたいのですが、低コスト集約化施業研修事業とい
うことで、200万円の予算が組まれているのですけれども、これはそういうことをやる

方の人件費ととらえるのか、人材の育成ということで書いてあるのですが、何か講習会を
するところに使うお金になっているのか、具体的な使い道がよくわからないので、教えて
いただきたいと思います。

それと、有害獣の捕獲装置ですけれども、10基ということですが、これで市町村を支
援ということですが、どこの自治体に何基とか、そういうようなことが決まってい
るようでしたら、その点を教えていただきたいと思います。

○七尾林政課長 低コスト集約化施業研修事業でございますが、研修を受ける方の人件費
ではございませんでして、研修内容が20日間の実際の作業道研修、林業機械による木材
生産研修と3日間の集約化施業のプラン作成研修となっております。その両方の講師謝金、
会場借り上げ費、森林プラン等の費用に充てる予定となっております。

以上でございます。

○田中森林整備課長 新型捕獲装置を、どこへ設置するのかというご質問ですが、基本的
にはニホンジカの生息数の多いところを想定しております。具体的名前は今調整中ですが、
考えておりますのは、十津川村、五條市、上北山村、下北山村、川上村、東吉野村、天川
村、宇陀市などを想定しております。現実にもう2～3の問い合わせを聞いております。
こういうところでございます。

以上でございます。

○国中委員長 いいですか。

ほかに。

○田中（惟）副委員長 お尋ねします。

土木事務所の様子を見ていましたら、夜遅くまで仕事していただいて、頑張っていた
ているのはよくわかるのですが、こうやって、土木だけに限らず、繰越明許をされたら、
大体いつごろまでに工期を設定されて、上げていただけるようになるのか。大体の目途と
いうか、そういうものをお持ちいただいていると思いますので、言いたいことは、できる
だけ早くやっってくださいということを言いたいのですけれども、その辺をお教えいただ
きたいと思う。

それから、先ほど今井委員からもお尋ねのあった部分ですけれども、林業振興で新しい
低コスト集約化という部分ですが、今まであまり採用されていなかった作業道とかそうい
うことを進めていこうというふうに理解してよろしいのでしょうか。その作業道のあり方
について、今まで認めにくいという感じの部分があったものが緩和されるといったら変な

言い方かも知れませんが、そういうものを認めようという方向なのかどうか、教えていただきたいと思います。

○藤川土木部次長 補正予算のどれぐらいの完了の目途かというご質問でございますが、ただいまから議決いただきまして承認をされますと、これから発注の手続を行います。発注の手続に結構時間を要するという最近の発注方式でございますので、それを早期にできるだけ早くするということで、来年度、河川の場合は出水期等の問題もございしますが、道路に関しましては上半期ぐらいを目標にしたいと思っております。

以上でございます。

○七尾林政課長 低コスト集約化施業研修事業でございますが、今、条例、指針に基づきまして、森林区分作業に入っています。それで、来年度以降、木材生産林で本格的に木材生産を進めてまいるに当たりまして、集約化といいますか、ある程度まとまった面積で個別に作業道を入れて、そこで機械を使って木材搬出をしてみたいと考えております。したがって、今までと違った作業道ということではなくて、奈良県にあつては、壊れにくい作業道ということでは考えておりますが、それを実際に作設しまして、機械による木材生産を実践できるような人材、それとそれをまとめるようなプランを作成する人材の育成を考えております。

以上でございます。

○國中委員長 ほかにございませんか。

ほかになければ、これもちまして、質疑を終わります。

本日の委員会を終わります。

どうも皆さん、ご苦労さんでございました。